



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ



中国銀行

NEWS RELEASE



令和5年11月1日

株式会社 中国銀行



マネー・ローダリング及びテロ資金供与防止対策の 共同運営化に向けた合併会社の設立について

中国銀行（岡山市北区丸の内一丁目15番20号 頭取 加藤 貞則）は、TSUBASA Aアライアンス^{※1}で連携する千葉銀行（頭取 米本 努）、第四北越銀行（頭取 殖栗 道郎）、及び株式会社野村総合研究所（代表取締役会長 兼 社長 此本 臣吾、以下、「NRI」）とともに、マネー・ローダリング及びテロ資金供与防止（以下、「AML/CFT」）対策の共同運営を行う合併会社「TSUBASA-AMLセンター株式会社」（以下、「新会社」）を設立いたしました。

当行は、これまでもAML/CFT対策の強化に向けて、独自の取組みに加え、「TSUBASA Aアライアンス株式会社^{※2}」内でAML/CFT対策に係る企画・調査業務の共同化を進めておりましたが、国際的な要請がますます高まる中で、今般、さらにオペレーションレベルに踏み込んだ共同化を実現すべく、TSUBASA Aアライアンス参加行の豊富な実務知識・経験とNRIの先進的な金融ITソリューションを融合し、AML/CFT対策の中核業務を共同運営してまいります。

なお、当面の間はTSUBASA Aアライアンス参加行を中心とした枠組みで新会社を運営してまいります。将来的には他の地域金融機関にも参加を募り、地域金融機関が長期安定的にAML/CFT態勢を維持していくためのプラットフォームとしてご活用いただくことも視野に入れております。

当行は、「地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する」をグループ経営理念に掲げ、地域社会・お客さまと相互に発展する持続可能なビジネスモデルを構築し、地域のお客さまに「選ばれ」「信頼される」総合金融サービスグループを目指します。

^{※1}千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み

^{※2}2020年7月に設立した10行の共同出資会社

【合併会社の概要】

商 号	T S U B A S A – A M L センター株式会社
所 在 地	東京都中央区日本橋室町 1-5-5
代 表 者	植田 健介（千葉銀行 AML 担当部長）
資 本 金	8,250 万円（別途、資本準備金 8,250 万円）
出 資 比 率	千葉銀行 51.5%、野村総合研究所 19.4% 第四北越銀行 14.5%、中国銀行 14.5%
業 務 内 容	AML/CFT 対策の共同運営（為替取引分析業）
設 立 日	2023 年 11 月 1 日（水）
業 務 開 始	2024 年度下期予定

以 上